

いわてグリーン農業アカデミー

1 目的

「みどりの食料システム戦略」の実現に向け、環境負荷を低減する農業者を育成するため、環境にやさしい農業を志向・実践する方を対象に、スマート農業技術を活用した有機農業など、環境保全型農業を実践する上で必要な知識や技術を習得する研修を実施します。

2 内容

(1) 講義

環境にやさしい農業の基礎知識や技術などを学習します。

(2) 演習・実習

各受講者が「環境負荷低減事業活動実施計画」(以下「みどり計画」という。)の作成と実践に向けた学習を行います。

(3) 事例研修

実践農家の事例を学習します。

(4) その他

研修は単位制とし、8割以上の単位を取得し※、研修成果である「みどり計画」を完成させた受講者に「修了証書」を授与します。

また、この計画は、「みどりの食料システム法」の認定制度である「みどり認定」の計画書として、計画認定申請に活用することができます。

※ 全単位 20 単位中 16 単位取得。単位の詳細は、「11 カリキュラム」を参照。

3 講師

外部講師、農業大学校職員

4 対象者

岩手県内に在住、または居住予定で、環境にやさしい農業を志向、実践する方

5 場所

(1) 主会場

岩手県農業研究センター県北農業研究所 (岩手県九戸郡軽米町大字山内 23-9-1)

(2) リモート会場

ア 岩手県立農業大学校農業研修館※ (岩手県胆沢郡金ヶ崎町六原字蟹子沢 14)

イ 宮古地区合同庁舎※ (宮古市五月町 1-20)

※ 県北農業研究所での受講を原則としますが、一部カリキュラムはリモート会場での受講も可とします。

(3) 事例研修先

6 実施時期

5月 27 日 (水)、7月 8 日 (水)、8月 5 日 (水)、9月 2 日 (水)、11月 4 日 (水)、1月 15 日 (金)

※ 講師の都合等により、変更することがあります。

7 募集定員

15 名 (定員を上回る場合は、受講動機などにより選考することがあります)

8 募集期間

令和 8 年 2 月 2 日 (月) ~ 3 月 19 日 (木)

9 経費

無料 (昼食代や、事例研修等に係る保険代は、別途実費を頂きます)

10 申込方法

【受講申込書】をメール (CE0014@pref.iwate.jp)、郵送のいずれかで当校に提出してください。

募集期間終了後、受講者の決定と受講に必要な手続きについて、お知らせします。

11 カリキュラム（予定：講師の都合等により、変更することがあります）

回	内 容	単位		評価方法
		講義	演習	
第1回 5月 27 日(水) 9:45～16:00 ※リモート会場 設置	開講式、オリエンテーション	—	—	出席状況及び レポート
	<ul style="list-style-type: none"> みどりの食料システム戦略(概要、制度の趣旨、政策、目標、支援措置等) 有機農業概論(有機農業の意義、特徴、取り組むまでのポイント等) 有機 JAS 認証制度 	講義	3	
第2回 7月 8 日(水) 10:00～15:30 ※リモート会場 設置	<ul style="list-style-type: none"> 有機栽培に関する技術開発の現状と研究動向 環境負荷低減を図る試験研究成果 IPM(総合的病害虫・雑草管理) 	講義	2	出席状況及び レポート
	「みどり計画」の作成演習(有機質資材の施用、化学肥料の施用減少、化学農薬の使用減少 等)	演習	2	
第3回 8月 5 日(水) 10:00～15:30	スマート農業実践事例	事例 研修	2	出席状況及び レポート
	スマート農機の活用と操作実習 (予定:自動操舵トラクタ、ラジコン草刈機など)	演習・ 実習	2	
第4回 9月 2 日(水) 10:00～15:30	県内実践農家(2カ所)	事例 研修	2	出席状況及び レポート
	「みどり計画」素案検討、意見交換	演習	2	
第5回 11月 4 日(水) 10:00～15:30 ※リモート会場 設置	土づくりと土壤診断の基礎及びたい肥と有機物の活用法	講義・ 実習	2	出席状況及び レポート
	土づくり実践事例	講義	1	
	「みどり計画」発表準備	演習	1	
第6回 1月 15 日(金) 10:00～15:30	研修成果発表会、「みどり計画」発表 (PowerPoint により受講者が発表)	演習	—	「みどり計画」 完成状況
	閉講式		—	—
合計:20 単位、修了に係る必須単位数:16 単位				

12 その他

研修の様子を撮影し、当校ホームページやSNSなどで使用しますので、御了承の上、お申込みください（お申し込みをもって御了承いただいたものとみなします）。